

皆さま方には、平素より私ども福岡中央銀行を格別にお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

当行はおかげさまで、本年6月に創立70周年を迎えました。1951年に正金殖産無尽株式会社として設立されて以来、ご愛顧いただいております地域の皆さま、株主の皆さまの永年にわたるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。



2021年7月

取締役頭取 古村 至朗

## ■ 経営環境

我が国の経済は、昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受け、福岡県経済も厳しい状態にあります。今後、ワクチン接種の進展などにより感染症の影響は、徐々に和らいでいくことが期待されるところですが、その収束には暫く時間を要し、企業の資金繰りにストレスのかかる状況は続くと思込まれます。当行では、感染対策と経済活動の両立を図り、新型コロナの影響を受けられたお客さまに対する資金繰り支援や経営改善支援など、経営課題の解決に引き続き全力で取り組んでまいります。

## ■ 第12次中期経営計画に込めた思い

少子高齢化・人口減少に伴う経済・社会構造の変化に加えて、コロナ禍を経て、デジタル化が加速的に進展し、また、環境問題への対応やダイバーシティの推進など、地域金融機関を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。

こうした変化の激しい時代であるからこそ、環境変化に揺るがない持続可能な経営が求められています。

当行では、いかなる環境にあっても、中小企業専門金融機関として地域社会の持続的な発展に貢献していくとの思いを込め、2021年4月から2024年3月までの3年間の計画期間とする第12次中期経営計画「BEST!～ひとりひとりのベストを大きな力に～」をスタートさせました。この計画では長期的に目指す姿として「地域になくはならない銀行」を掲げ、2つの基本コンセプトである「顧客本位の営業スタイルの進化」と「収益基盤の強化」の実現に向けて変革に果敢に取り組む、地域の皆さまの課題解決にベストを尽くしていくことを目指しております。

## ■ お客さま本位の取り組み

第12次中期経営計画では、お客さま一人ひとりの期待にお応えすること

を主軸に据えて、当行の強みである“対話”を通じてお取引先に寄り添う営業スタイルを進化させてまいります。

本中計の計画期間である3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響から経済が回復する期間であると認識し、お取引先の経営改善や事業再生をサポートする最適な金融サービスの提供を最優先で行っていく所存です。また、2021年4月に立ち上げた「M&A室」では、多くの中小・小規模事業者が抱える後継者問題に対して、適切な事業承継・M&A支援を行ってまいります。

## ■ デジタル技術の活用

デジタル化は不可逆的な潮流であり、コロナ禍のもとお客さまとの接点強化に必要不可欠なものとなっています。経営支援クラウドサービス（Fukuoka Big Advance）はウェブ上でビジネスマッチング等非対面でのコミュニケーションの場として多くのお取引先にご利用いただいております。また、インターネットでの定期預金や個人ローンのお申込み、ATMでの即時振込時間の拡大など、非対面チャネル・サービスの拡充によりお客さまの利便性向上も図っております。それ以外にも、各種資料のペーパーレス化や、銀行窓口での事務手続きの簡素化など、当行の業務効率化においてもデジタル技術を活用していく方針です。

## ■ SDGsの推進

当行では、2020年12月に「福岡中央銀行SDGs宣言」を行い、お取引先の脱炭素化への取組みなどのSDGs推進に対し、金融サービスを通じて積極的に支援していくとともに、当行においても業務の効率化・生産性向上により環境負荷を低減する取組みを進めています。

また、2021年4月から新たな人事制度を導入し、性別や世代を問わず、“働きやすく、働きがいのある”職場環境の土台を整備しました。女性活躍などダイバーシティを推進し、多様な価値観から前例にとらわれない新しい発想を生み出す企業風土を目指してまいります。

## ■ 持続可能な経営に向けて

コロナ禍による歴史的転換点にあって、創立70周年という節目の年にスタートした第12次中期経営計画の3年間は、10年、20年先を見据えた盤石な経営基盤作りの期間でもあります。70年の歴史の中で諸先輩方が築き上げてこられたお取引先との信頼関係や地域社会との絆など守るべきものを守りながら、一方で、社会構造の変化に対応すべく変えるべきものは聖域なく変えていき、持続可能な経営に向けて歩み続けてまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。